

共同研究募集要項

寒地土木研究所が提案する相手機関指定・公募共同研究を募集します。

(※) 相手機関指定・公募共同研究とは、寒地土木研究所及び指定機関（大学等）に公募機関を加えて実施する共同研究です。

1. 共同研究の名称等

課題名：プラスチックボードドレーンを用いた泥炭性軟弱地盤の耐震補強技術の開発

指定機関：公立大学法人大阪（大阪公立大学）

2. 共同研究の概要

＜共同研究の目的＞

過去の大地震によって泥炭性軟弱地盤上に構築された盛土の大規模な崩壊が発生している。そこで本共同研究は、泥炭性軟弱地盤上に構築された盛土に関して、地震による地盤や盛土の変形挙動を明らかにした上で、現状では静的な安定性を向上させる軟弱地盤対策にとどまっているプラスチックボードドレーン（PBD）工法を、地盤補強を兼ねたPBD工法に改良・発展させることで泥炭性軟弱地盤に対する新たな耐震補強技術の開発を行うことを目的とする。

＜共同研究の内容＞

- ・研究計画の立案
- ・地震による泥炭性軟弱地盤の変形挙動に関する検討
- ・PBDを用いた軟弱地盤の地盤補強技術に関する検討
- ・耐震補強効果を有するPBDの開発
- ・研究成果のとりまとめ

3. 実施期間（予定） 令和7年4月1日 ～ 令和10年3月31日

4. 共同研究の内容及び研究分担

研究項目	研究細目	研究分担			年次計画		
		寒地土木 研究所	指定機関 (大阪公立大学)	応募機関	R7年度	R8年度	R9年度
研究計画の策定	計画検討	◎	◎	◎	○	—	—
地震による泥炭性 軟弱地盤の変形挙 動に関する検討	被災事例の分析	◎	○	○	○	○	○
	遠心模型実験の実施とデ ータ整理						
	実験結果に基づく検討						
PBDを用いた軟弱地 盤の地盤補強技術 に関する検討	遠心模型実験の実施とデ ータ整理	○	◎	○	○	○	○
	実験結果に基づく検討						
耐震補強効果を有 するPBDの開発	PBDの力学特性に関する 検討	○	○	◎	○	○	○
	耐震補強効果を有する PBDの開発						
とりまとめ	総合とりまとめ	◎	◎	◎	—	—	○
	報告書作成						

※1 研究分担に主従がある場合は、主として分担する方に◎印、従として分担する方に○印としている。

5. 共同研究に参画する条件及び募集する参加者数等

<参画条件>

以下全ての条件を満たすこと。

- ・プラスチックボードドレーン（PBD）の製品開発の実績を有すること。
- ・過去10年以内に泥炭性軟弱地盤におけるPBDに関する研究実績を有すること。
- ・指定機関（大阪公立大学）との共同研究が可能なこと。
- ・日本語による意思疎通が可能なこと。

<留意事項>

全ての参加機関で一つの共同研究協定を締結する予定

（寒地土研の標準協定書を基本に各機関協議の上、協定書を締結する予定）

<参画者数>

1～2社程度を想定している。

<参画者の選定方法>

書類審査および個別ヒアリングにより選定する。

① 書類審査

- ・公募共同研究応募申請書
- ・公募共同研究応募総括表
- ・共同研究費用積算内訳書
- ・プラスチックボードドレーン（PBD）の製品開発および泥炭性軟弱地盤におけるPBDに関する研究について、その実績がわかる資料（論文、パンフレット、特許広報資料、NETIS登録資料、技術開発報告書など）

② 個別ヒアリング（対面・オンラインによる面談、または電話などによる聞き取り）

6. 申請書類の提出先

（電子メールでの提出先）

申請書類は「電子メール（kyoudou@ceri.go.jp）」で受付します。

メールの件名に「共同研究」と記入し、PDFファイルにて提出してください。

※（重要）電子メールで申請書類を提出する場合の注意点

- （1）「原本担保」等の観点からPDF形式で提出してください。
- （2）原本は、後日、以下の宛先へ郵送願います。

（原本の郵送先）

〒062-8602

札幌市豊平区平岸1条3丁目1番34号

国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所

寒地基礎技術研究グループ 寒地地盤チーム

上席研究員 山木 正彦 宛（TEL：011-841-1709）

7. 公募受付期間

令和7年2月17日（月）から令和7年3月14日（金）17時まで